様式１

令和５年度キャリア教育年間指導計画（全体計画）

都立	篠崎高等	学校	全日	制課程

○学校の教育目標

自分の良さを認識し、多様な人々と協働しながら、変化の激しい社会の担い手を育成する。
○基礎学力を培い、自ら学び考え行動する力を育てる
○自らを律し、互いの人格を尊重し、多様性を重んじる態度を育てる
○自己肯定感を高め、社会に貢献する精神を育てる

○前年度のキャリア教育における成果と課題

・進路決定率は、前年度をやや下回り92%となった。ただし大学・短大現役進学率はコロナで低下した3年前より大きく上回り、一昨年度63．6%、昨年度68．2%となった。これはコロナに翻弄されて専門学校に大きく流れた3年前の反省を踏まえ、学校推薦型（指定校制）選抜の選考委員会の時期の見直しや、総合型選抜への指導体制の強化による。また短期大学への進学が増加し、進路相談等の充実も見られた。就職希望者は100%決定したが、これは毎週就職講座を実施し、面接・作文指導等に取り組んだ成果である。

○生徒の現状

・過去5年間では、入学時の大学・短大進学希望が80%、卒業時の現役進学率が70%程度である。民間企業就職希望者は10%前後であるが、職種を選択する際に十分な知識を持たず希望している者がいる。専門学校進学希望者も一部を除き、漠然とした将来設計しか持たぬまま進学する傾向が認められる。
・学力はほぼ横這いであるが、ここ数年の進路指導により、生徒と保護者の進学・キャリアに対する意識は変革されている。しかし、入試改革、新型コロナ感染拡大による社会情勢・入試状況の変化

○目指すべき生徒の姿

・自ら学び考え行動出来る生徒
・互いの人格を尊重出来る生徒
・規範意識を高めることが出来る生徒
・社会貢献の精神及び健康な心身を養える生徒

○キャリア教育の目標

・自己理解・将来設計能力の育成
・進路選択基準としての職業・勤労観の養成
・興味・適性・能力の客観的把握
・各人の進路希望実現

○系統的計画的な取組の内容

	１年	育成能力	２年	育成能力	３年	育成能力	４年	育成能力
校務分掌	・体験活動に対する指導・助言・問題提起を通した生徒への寄与（教務部） ・学力スタンダードの設定・学力向上推進プランの作成（教務部） ・大学入試説明会・デリバリー教養講座・（進路部） ・OBOG懇談会での話し手・聞き手の立場を通した諸能力の開発	① ③ ④ ④	・面接指導を通した「挨拶・マナーの定着」、「コミュニケーション能力の向上」、「自己アピール能力の養成」（進路部） ・合格体験発表会・OBOG懇談会での話し手・聞き手の立場を通した諸能力の開発（進路部）・大学入試説明会・デリバリー教養講座（進路部） ・高大連携講座（進路部）	② ④ ③	・面接指導を通した「挨拶・マナーの定着」、「コミュニケーション能力の向上」、「自己アピール能力の養成」（進路部） ・合格体験発表会・OBOG懇談会での話し手・聞き手の立場を通した諸能力の開発（進路部）・大学入試説明会（進路部） ・高大連携講座（進路部） ・就職対策講座（進路部）	② ④ ③ ①		
教科	・【国語科】社説やコラムを読む、書くビブリオバトル ・【英語科】国際理解・コミュニケーション ・【体育科・芸術科・家庭科】チームプレイ・共同作業 ・【情報科】・情報リテラシー・インターネット活用 ・【地歴公民科】・産業・生活・食料・住居・エネルギー問題把握や考察	③ ① ① ③ ④	・【国語科】社説やコラムを読む、書くビブリオバトル ・【英語科】国際理解・コミュニケーション ・【体育科・芸術科・家庭科】チームプレイ・共同作業 ・【情報科】・情報リテラシー・インターネット活用 ・【地歴公民科】・産業・生活・食料・住居・エネルギー問題把握や考察	③ ① ① ③ ④	・【国語科】社説やコラムを読む、書くビブリオバトル ・【英語科】国際理解・コミュニケーション ・【体育科・芸術科・家庭科】チームプレイ・共同作業 ・【情報科】・情報リテラシー・インターネット活用 ・【地歴公民科】・産業・生活・食料・住居・エネルギー問題把握や考察・国際	③ ① ① ③ ④		
特別活動	・文化祭・体育祭における地域連携実施 ・リーダー研修会の実施・部活動の充実 ・集会時の生活指導講話 ・セーフティ教室の実施 ・遠足・校外学習における班行動体験・生徒会・委員会活動（計画・作成・実施・報告・総括） ・部活動（計画・作成・実施・報告・総	③ ① ② ② ③ ④	・文化祭・体育祭における地域連携実施 ・リーダー研修会の実施・部活動の充実 ・集会時の生活指導講話 ・セーフティ教室の実施 ・遠足・校外学習における班行動体験・生徒会・委員会活動（計画・作成・実施・報告・総括） ・部活動（計画・作成・実施・報告・総	③ ① ② ② ③ ④	・文化祭・体育祭における地域連携実施 ・リーダー研修会の実施・部活動の充実 ・集会時の生活指導講話 ・セーフティ教室の実施 ・遠足・校外学習における班行動体験・生徒会・委員会活動（計画・作成・実施・報告・総括） ・部活動（計画・作成・実施・報告・総	③ ① ② ② ③ ④		
総合的な探究の時間	・各種適性検査 ・地域探究ガイダンスによる学びに向かう力の育成・指導 ・Locusシステムによる地域課題の探究 ・進路ガイダンスによる進路選択	② ③ ③ ②	・選択科目に関する説明会の立案・指導 ・上級学校訪問による選択・決定、進路ガイダンスによる進路選択・決定 ・大学入試説明会・デリバリー教養講座 ・OBOG懇談会時による選択・決定 ・地域課題探究における企業や団体へのプレゼンテーションを通した言語能力の育成・指導	② ② ④ ④ ③	・1，2年次の学習成果を自らの進路希望に応じてアウトプットするための進路探究学習	③		

○キャリア教育の推進組織

進路指導部

具体的な連携先（その内容）

企業・NPO等	・ハローワーク木場のジョブサポーターと連携しての研修会や個別相談の実施 ・大学入試情報関係会社による大学入試説明会の実施 ・江戸川区主催の区立保育園体験 ・東京都教育委員会の斡旋に応じたNPO法人等の進路ガイダンスの実施 ・既卒生就職先企業の協力による民間企業業務説明会の実施
小・中学校・上級学校	・聖徳大学・東洋大学・立正大学・千葉商科大学・東京経済短期大学との高大連携講座の実施 ・デリバリー教養講座（15大学・計20名を講師として90分授業・ワークシート全員提出）の実施 ・上級学校説明会（学部・学科説明含む）の実施 ・中高連携協定校（篠崎中・篠崎第2中・瑞江中・小岩第2中・鹿骨中・松江第5中）との教育連携行事の実施 ・中高連携事業（江戸川区立中学校剣道部招待）の「篠崎高高杯剣道大会」の開催・運営 ・キャリアパスポートを活用することで、生徒の課題を中学と共有しキャリア発達の支援に当た
区市町村・都・国などの公的組織（事業名）	・江戸川区主催の海外派遣事業「青少年の翼」に参加 ・「江戸川区民祭り」への協力・参加 ・江戸川区役所環境部清掃課とのフードドライブの実施
保護者・同窓会	・卒業生を講師として招聘する「（進学版・就職版　OBOG懇談会」 ・大学教授を招聘しての「デリバリー教養講座」への支援
地域・その他	・地域探究学習成果発表会を実施 ・江戸川区教育委員会と連携し、地域課題の探究学習を実施 ・小松川署と連携し、セーフティ教室の実施 ・エドテック企業との連携による先進的な探究学習における地域との協働的な学びの実施 ・江戸川区地域の企業や団体（株式会社ポポラマーマ、ACSL、TOKYO23FC、江戸川区役所環境部清掃課）との協働的な学びにおける商品開発やブランディングアイデアの提供